

# 令和5年度理科《第2学年》年間指導計画

## 理科 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 理科 第2学年の目標

- (1) 化学変化についての観察・実験をとおして、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これら的事象を原子、分子のモデルと関連づける見方や考え方を養い、物質の成り立ちや化学変化のしくみに対する関心・意欲を高める。
- (2) 身近な動物についての観察・実験を通して、動物の調べ方の基礎を身につけるとともに、動物のからだのつくりとはたらきを理解し、動物の種類やその生活についての認識を深め、自然環境を保全し生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。
- (3) 電流回路についての観察・実験をとおして、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解するとともに、日常生活と関連づけて電流と磁界についての初步的な見方や考え方を養い、電流に対する関心・意欲を高める。
- (4) 身近な気象の観察、観測を通して、天気変化の規則性に気づくとともに、気象現象が起こるしくみと規則性についての認識を深め、気象現象に対する興味・関心を高める。

★ 知は、自然事象についての知識・技能 意思は、科学的な思考・判断・表現、態度は、自然事象へ主体的に取り組む態度、

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価資料
(佐熊) 4	ガイダンス	理科学習について意欲を高める	理科学習の意味・意義、理科室使用のルール確認	意欲	意欲的に取り組もうとする。	
5	単元1 化学変化と 原子・分子  <36時間>	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち及び化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。  化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。  化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにになる。	1章 物質の成り立ち [14]  2章 いろいろな化学変化 [8]  3章 化学変化と熱の出入り [3]  4章 化学変化と物質の質量 [6]  探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [1]	知  意  思	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。  化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	・授業への取り組み  ・ワークシート点検  ・基礎テスト  ・ノート点検  ・定期テスト
6				意	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
7				意		
9	単元2 生物の体の つくりとは たらき  <38時間>	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物や動物の体のつくりと働きのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。  身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する。	1章 生物をつくる 細胞 [5]  2章 植物の体のつくりとはたらき [12]  3章 動物の体のつくりとはたらき [16]  探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [1]	知  意  思	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。  身近な植物や動物の体のつくりと働きについて問題を見いだし、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	・授業への取り組み  ・ワークシート点検  ・基礎テスト  ・ノート点検  ・定期テスト
10				意	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

11		生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。			る。	
12	単元3 電流とその利用  <34時間>	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。  電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。  電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	1章 電流と回路 [14]  2章 電流と磁界 [9]  3章 電流の正体 [5]  探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [1]	知  思  態	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。  電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。  電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・授業への取り組み  ・ワークシート点検  ・基礎テスト  ・ノート点検  ・定期テスト
1						
2						
3	単元4 気象のしくみと天気の変化  <31時間>	身近な気象の観察、実験などを通じて、気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。  気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。  気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ことができるようになる。	1章 気象観測 [7]  2章 気圧と風 [6]  3章 天気の変化 [6]  4章 日本の気象 [7]  探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [1]	知  思  態	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。  気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。  気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・授業への取り組み  ・ワークシート点検  ・基礎テスト  ・ノート点検  ・定期テスト